※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写で学んだことを発展させて、芸術科書道では芸術として様々な書の美しさに触れ、用具用材の違いによる表現の違いを学びます。
・漢字の書では、篆隷行草から楷書に至る書体を体験し、仮名の書、漢字仮名交じりの書を学びます。古典の学習を通して、基礎的な技術を身に付け、自己の表現に生かせるように目指します。
・展覧会活動や身近に飾れる作品制作を通して、創作の楽しさや達成感を味わい、書を愛好する心情とグローバルリーダーとしての資質を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり、主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	漢字の書	(鑑賞) ・書写の知識・技能を確認し、書道との違い、漢字の変遷と五書体の特徴について学ぶ。 ・楷書及び行書の古典臨書を通して、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 ・各古典の表現の違いを理解し、特徴を時代と人物を通して鑑賞する。 (表現の構想) ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 (作品の完成) 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する。	a:書写と書道の類似点・相違点、各書体の特徴を理解している。用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆、運筆との関わりについて、書の幅広い活動を通して理解している。(知識) a:古典に基づく基本的な用筆・運筆、線質、字形や構成を生かした表現など、書の伝統に基づき作品を効果的に表現するための技能を身に付けている。(技能) b:古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現など、書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	古典観察シート 作品	古典観察シート 相互批評	振り返りシート 作品
2	篆刻(名前の印)	(鑑賞) ・様々な石や銅の印影を鑑賞して運刀法や印面の構成を学ぶ。 (印稿) ・刻す文字を決め、各書体調べを通して書体の変遷を理解し、その特徴を生かした印稿を作る。 (印の制作) 刻線による表現を工夫し、運刀の技能を身に付ける。	a:書体の変遷、篆刻における分間布白について理解している。(知識) a:基本的な運刀や印面構成など、作品を効果的・創造的に表現するための技能を身に付けている。(技能) b:書体の特徴を生かした印面構成、運刀など篆刻のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し個性豊かに表現を工夫している。 c:篆刻の伝統と文化、刻線による表現に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 相互批評	振り返りシート 作品

※令和４年度以降入学生用

2	創作（展覧会作品）	・テーマに沿った言葉を選定（漢字の書）、文字調べ（楷書・行書）、古典の特徴を生かした草稿作り。 ・意図に基づく表現を工夫し、半紙による紙面構成、古典の特徴を生かした作品制作、落款を入れる。 ・作品展示を行い、相互鑑賞を通して表現の意図、技法の効果、書のよさや美しさを味わう。	a：形式、書表現の多様性について、創作活動を通して理解している。（知識） a：古典から学んだ技能を身に付け、効果的・創造的に表現している。（技能） b：意図に基づいて言葉を選定し、古典の書体や書風を生かした表現や現代に生きる表現など、書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに全体の構成や表現を工夫している。 c：作品制作の喜びや達成感を味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	創作シート 作品	創作シート 相互批評	振り返りシート 作品
	仮名の書	（鑑賞） ・古筆臨書を通して、平仮名・変体仮名の基本的な用筆・運筆、連綿と単体、淡墨による線質の表現効果を学ぶ。 ・時代による仮名の種類を理解し、文字が省略される過程について時代背景を通して鑑賞する。 （表現の構想） ・古典に基づく基本的な用筆・運筆、連綿、淡墨の線質の技能を身に付ける。 （作品の完成） 古典の書風に即した用筆・運筆、連綿、全体の構成を工夫しながら表現する。	a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて、書の幅広い活動を通して理解している。（知識） a：古典に基づく基本的な用筆・運筆、連綿と単体、淡墨の線質や字形を生かした表現など、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付けている。（技能） b：古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現など、書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 c：仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	古典観察シート 作品	古典観察シート 相互批評	振り返りシート 作品

※令和４年度以降入学生用

3	漢字仮名交じり書	(鑑賞) ・名筆や現代の書の作品を鑑賞して様々な表現を学ぶ。 (表現の構想) ・表現の意図にあった言葉を選び、古典の特徴を生かして構想を練る。 (作品の完成) ・漢字(楷書・行書)と仮名(平仮名・片仮名)の調和、紙面構成など、意図に基づく構想と表現を工夫する。 ・相互鑑賞を通して、表現の意図と効果、そのよさや美しさを味わう。	a:名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わり、用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。(知識) a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現をするために必要な技能を身に付け、表している。(技能) b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現を工夫し構想を練っている。 c:漢字仮名交じりの多様な表現や表現効果に関わり、意図に基づいた表現に向けて主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 相互批評	振り返りシート 作品
	生活の中の書(硬筆)	・生活の書(手紙、はがき、封筒、のし袋)の学習を通して、相手や目的に合わせて効果的に思いを表現する。 ・内容や書体・書風を考え、用具(鉛筆、ボールペン、筆ペン)・用材を選ぶ。	a:書表現の多様性、生活と文字の関わりについて理解している。(知識) a:生活の書として効果的に表現するための技能を身に付けている。(技能) b:生活における書のよさや美しさ、効果を感受し、表現の意図に基づいて書体・書風を選び、個性豊かに生活の書に生かした表現を工夫している。 c:書の伝統と文化、生活の書と豊かに関わり、主体的に書表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 相互批評	振り返りシート 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度